

NIWAto

HIMEJI GARDEN ATELIER



家が完成してからでは遅い

新築前に確認したい

「庭と外構 15のチェックリスト」

打ち合わせの終盤に「外構は別で」と言われる前に。

はじめに

外構の話は、家づくりの終盤に出てきます。

間取りが決まり、窓が決まり、見積りが固まったところに「外構は別途で」と言われる。そのときには、駐車場の位置も、リビングの窓の向きも、敷地の高さも、もう動かさせません。

庭と外構は、家が完成してから考えるものではありません。

窓の位置を決めた日に、庭の場所も決まっています。玄関の位置を決めた日に、アプローチの形も決まっています。だから私たちは、建物と一緒に庭を設計します。

この冊子は、15の問いでできています。

家の打ち合わせが始まる前、あるいは進んでいる途中で、ひとつずつ答えてみてください。答えられない問いがあれば、それが「いま考えておくこと」です。

NIWAtO 本田 準一

この本の使い方

1. 15の問いに、○か×を付けます。
2. ×が付いた問いは、その章のページを読みます。
3. 巻末のチェックシートを、次の打ち合わせに持っていきます。

×が多いほど、いまが一番よいタイミングです。

家が完成する前なら、ほとんどの問いは図面の上で解決できます。



4

NIWAtoについて

NIWAtoは、姫路の工務店クオホームから生まれた、庭と外構の設計チームです。

家の設計図を読み、窓の位置から庭を考えます。石、木、左官、植栽。素材そのものの美しさを活かし、既製品を並べるだけの外構はつくりません。

植えた後まで、責任を持ちます。木が根付き、暮らしに馴染むまでが庭づくりだと考えています。

家をつなぐ。それが、私たちの仕事です。

第1章 暮らし編

庭で、どう過ごしたいか。

それが決まらないと、何を優先して、何を後回しにするかが決まりません。

第1章は、暮らしの側から庭を考える5つの問いです。



6

問1 庭で何をしたいか、決まっていますか？

よくある状況

「庭は欲しい。でも何をするかは、住んでから考える」。多くの人がそうおっしゃいます。

なぜ、後からでは遅いのか

バーベキューをする庭と、眺めるだけの庭では、必要な広さも、床の材料も、水栓の位置も違います。子どもを裸足で遊ばせたいなら芝の面積が要り、菜園なら日当たりと水が要ります。用途が決まらないまま形だけ決めると、使わない庭になります。

建物と一緒に考えると

「週末に外で食事をしたい」「洗濯物を人目にさらしたくない」。そうした暮らしの言葉から、庭の広さと場所を決めます。それは同時に、リビングの窓の位置を決めることでもあります。

□ 庭でしたいことを、3つ書き出してある



7

問2 駐車台数だけでなく、車の出し入れや自転車の置き場まで考えていますか？

よくある状況

「2台停められれば十分」。台数は決まっていますが、切り返しの余地や、ドアを開けて降りる幅までは考えていないことが多いのです。

なぜ、後からでは遅いのか

駐車スペースの位置は、建物の配置で決まります。完成後に「もう少し寄せたい」と思っても、基礎は動きません。門柱や植栽が車の出し入れの邪魔になって、結局撤去する例もあります。

建物と一緒に考えると

車の動きを配置図に描き、乗り降りの幅と、雨の日に玄関まで濡れずに歩ける経路を確かめます。自転車の置き場も同じ図面で決めます。玄関の近く、雨がかわらず、道路から目立たない場所が理想です。

□ 車の出し入れの動きを、図面に描いて確認した



8

問3 自転車の置き場所を、決めていますか？

よくある状況

自転車は「どこかに停めるだろう」で終わりがちです。完成後、玄関脇に3台並び、家の顔が自転車になります。

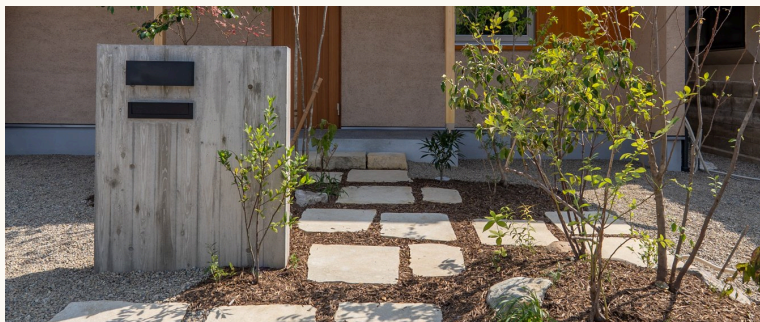
なぜ、後からでは遅いのか

雨に濡れない場所は、軒の下か屋根のある場所です。軒の出は建物側で決まるので、後から屋根を足すと既製品のサイクルポートになり、外観を崩します。

建物と一緒に考えると

軒下や建物の裏側、あるいは造作の壁の陰に、台数分の居場所をつくります。景色に入らない位置に置くだけで、家の印象は変わります。

□ 自転車の台数と置き場所を、図面に書き込んだ



9

問4 玄関までの動線は、雨の日でも使いやすいですか？

よくある状況

晴れた日の完成写真では分からないことがあります。傘をさして、荷物を持って、門から玄関まで歩けるか。

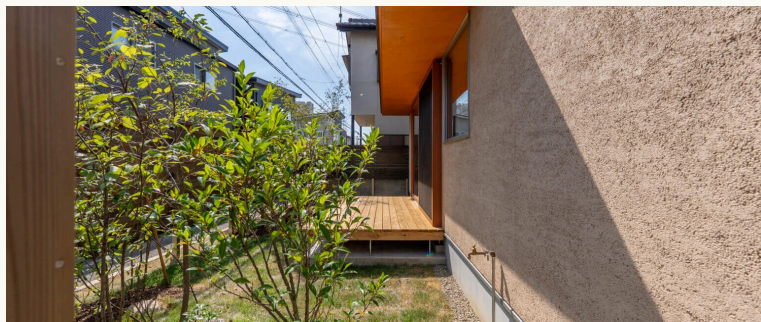
なぜ、後からでは遅いのか

飛び石の間隔、段差の高さ、玄関前の軒の有無。どれも完成後に直すには大きな工事になります。特に段差は、敷地の高さと玄関の高さの差で決まるので、設計の段階でしか調整できません。

建物と一緒に考えると

玄関ポーチの広さと軒の出を建物側で確保し、門から玄関までの歩幅で飛び石の間隔を決めます。雨の日にも自然に歩ける動線は、晴れた日にも美しく見えます。

- 雨の日にも、門から玄関まで濡れずに歩ける経路がある



10

問5 ウッドデッキやタイルテラスを付けること自体が、目的になっていませんか？

よくある状況

「デッキは付けたい」。ただ、そこで何をするかは決まっていない。完成後、デッキは物干しと物置になります。

なぜ、後からでは遅いのか

デッキが使われるかどうかは、日当たりと、隣家からの視線と、室内からの出やすさで決まります。どれも建物の配置と窓の位置で決まるものです。

建物と一緒に考えると

デッキの床の高さを室内の床にそろえ、掃き出し窓の外に置く。視線が気になる方向には壁か植栽を置く。そこで「何をするか」が先にあれば、広さも向きも自然に決まります。

□ デッキやテラスで、何をするかを決めてある

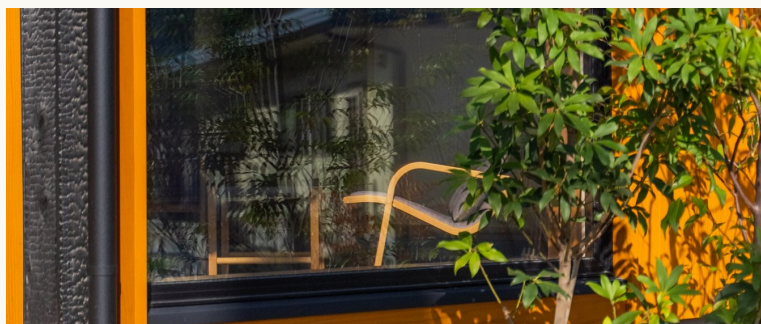


第2章 建築とのつながり編

窓、視線、建物の配置。

第2章の問いは、すべて建物側の図面で決まることです。ここが「建物と一緒に設計する」の核心です。

図面が手元があれば、開きながら読んでください。



12

問6 リビングから、何が見えるか確認しましたか？

よくある状況

リビングの大きな窓。その正面に、隣家の壁、室外機、駐車した車。カーテンを閉めた暮らしになる家は、少なくありません。

なぜ、後からでは遅いのか

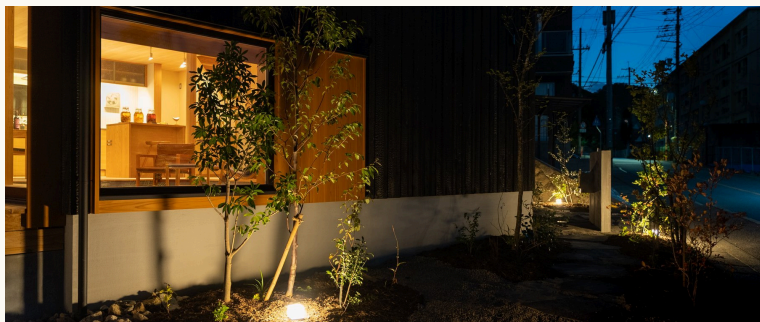
窓の位置は、建物の図面で決まります。完成後に景色を変えるには、植栽で隠すか、目隠しを立てるしかありません。それは「見せたいものをつくる」のではなく「見たくないものを隠す」外構です。

建物と一緒に考えると

窓の正面に、何を置くかを先に決めます。一本の木でも、石の壁でも、小さな庭でもいい。「窓の先に、何が見えるか」を決めてから、植える場所と窓の高さを合わせます。

これが、NIWAtOが一番大切にしている問いです。

- リビングの窓の正面に、何が見えるかを図面で確認した



13

問7 大きな窓と庭を、セットで考えていますか？

よくある状況

明るいいりびングにしたいくて、南に大きな窓。その外は駐車場と道路。窓を大きくした分だけ、外から丸見えになります。

なぜ、後からでは遅いのか

窓の大きさと向きは変えられません。外構で対処すると、高いフェンスで囲うことになり、せっかくの大きな窓が壁を眺める窓になります。

建物と一緒に考えると

大きな窓の外には、庭を置きます。庭の奥に視線を受け止める植栽や壁を置き、道路側は建物や門まわりでさりげなく切る。窓と庭を一枚の絵として設計すると、カーテンを開けて暮らせます。

□ 大きな窓の外に、何があるかを決めてある



14

問8 道路や隣家からの視線を、確認しましたか？

よくある状況

「隣は今は空き地だから」「道路は人通りが少ないから」。住み始めてから、二階の窓や歩行者の視線に気づきます。

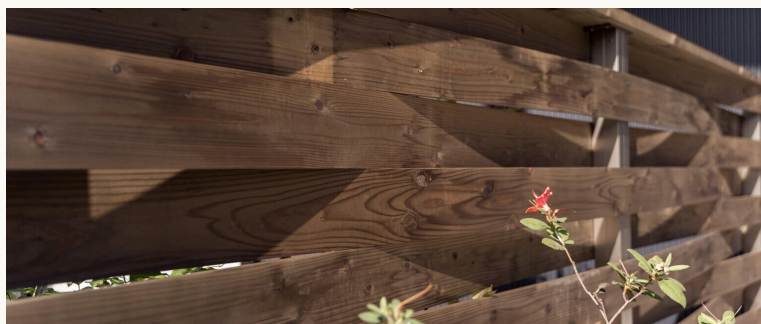
なぜ、後からでは遅いのか

視線は、建物の配置と窓の高さで大きく変わります。完成後に対処すると、フェンスを高くするか、植栽を密に植えるか。どちらも庭を狭く、暗くします。

建物と一緒に考えると

配置図に、道路からの視線と隣家の窓からの視線を線で引きまします。線が通る場所に窓を置かない、あるいは窓の高さをずらす。それだけで外構でやることが減り、庭が広く使えます。

□ 配置図に、道路と隣家からの視線を線で引いてみた



15

問9 目隠しを、フェンスだけで解決しようとしていませんか？

よくある状況

視線が気になる。だから背の高いフェンスをぐるりと。囲われた安心はありますが、圧迫感と暗さも一緒に来ます。

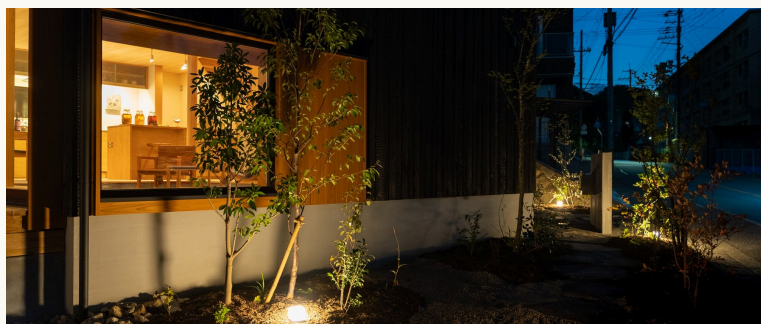
なぜ、後からでは遅いのか

フェンスは最後に足せる分、頼りがちです。ただ、高いフェンスは風を止め、日を遮り、家の外観を隠します。既製品のフェンスは、家との調和を選べません。

建物と一緒に考えると

目隠しは、植栽と壁と窓の位置の組み合わせで解きます。視線が通る一点だけに木を置く。窓を少しずらす。造作の低い壁で足元だけを切る。フェンスは、最後の手段に取っておきます。

□ 目隠しを、フェンス以外の方法でも考えた



16

問10 外部照明を、建物と一緒に計画していますか？

よくある状況

外の照明は玄関灯だけ。夜、家の外はただ暗く、庭は見えません。

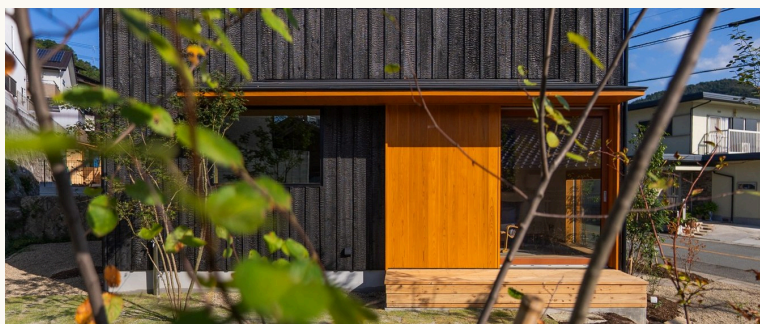
なぜ、後からでは遅いのか

外部照明の配線は、建物の電気工事と一緒に行うものです。後から足すと露出配管になり、せっかくの外壁に線が走ります。

建物と一緒に考えると

植栽を足元から照らす灯り、アプローチを導く灯り、壁を照らす灯り。どこに何を置くかを先に決めて、配線を建物側で仕込みます。夜の庭は、昼とは別のもうひとつの庭になります。

□ 外の照明の位置を、電気の図面に入れてある



17

問11 屋外コンセント・水栓、エアコン室外機・給湯器の位置を、考えていますか？

よくある状況

完成して、庭の一番いい場所に室外機と給湯器が並んでいた。庭に水をやる水栓が、庭の反対側にあった。

なぜ、後からでは遅いのか

設備の位置は、建物の設計で機械的に決まります。庭のことを考えずに決まると、リビングの窓の正面に室外機が来ます。移設は配管工事になります。

建物と一緒に考えると

室外機・給湯器・量水器は、庭から見えない面にまとめます。水栓は植栽とデッキの近くに、コンセントはデッキと照明の近くに。将来の電気自動車の充電も、ここで考えておきます。

- 室外機と給湯器が、庭やリビングの正面に来ていない



第3章 外構・庭編

予算、植栽、敷地の高さ、時期。

第3章は、庭の側で決めることです。ただし、そのどれもが建物の図面とつながっています。



19

問12 外構予算を「最後に余ったお金」で考えていませんか？

よくある状況

家の予算を決め、設備を選び、最後に残った分で外構を。残った分は、思っていたより少ない。

なぜ、後からでは遅いのか

余った分で作れるのは、駐車場の土間と、境界のフェンスまで。植栽も、照明も、庭も入りません。建物がどれだけ整っていても、外がそれでは、家全体の印象が変わります。

建物と一緒に考えると

庭と外構の予算を、最初から家の予算に入れておきます。そうすると、窓も駐車場も植える場所も、同じ図面の上で決められます。予算の考え方は、『お金編』で詳しくお話しします。

□ 家の予算に、庭と外構の分を最初から入れてある



20

問13 植栽を、植えた直後ではなく5年後、10年後まで想像していますか？

よくある状況

完成時の写真では小さかった木が、5年後に窓をふさぎ、隣地に枝が越え、根が土間を持ち上げる。

なぜ、後からでは遅いのか

木は育ちます。植える場所を「今の見た目」で決めると、数年後に切るか、抜くことになります。

建物と一緒に考えると

樹種ごとに、育った姿の大きさに配置します。窓の前には、育っても窓をふさがらない高さの木を。隣地との境には、枝の広がりを見込んだ距離を。5年後、10年後に一番きれいになる庭を、設計します。

□ 植える木の、育った大きさを知っている



21

問14 建物の高さ(GL)と、道路・隣地の高低差を確認しましたか？

よくある状況

見積りに、階段、スロープ、土留めの費用が並んでいて驚く。敷地と道路に高低差があると、外構の費用は大きく変わります。

なぜ、後からでは遅いのか

建物の高さ(GL)は、設計の初期に決まります。道路より高く設定すれば階段が要り、低ければ土留めが要ります。

建物と一緒に考えると

建物の高さを決めるとき、外構の高さも一緒に決めます。石段にするのか、緩い坂にするのか、土留めをどこに置くのか。高低差を「解決する」のではなく「活かす」設計は、この段階でしかできません。

□ 建物の高さ、道路・隣地との差を図面で確認した



22

問15 庭と外構を、家の完成後に考えようとしていませんか？

ここまでの15の問いのうち、半分以上は建物の図面で決まることでした。

窓の位置、建物の配置、敷地の高さ、設備の場所、配線。

それらが決まった後に庭を考えると、できるのは「残った場所に、残ったお金で、残ったものを置く」ことだけです。

だから、家が完成してからでは遅いのです。

庭と外構は、家と一緒に設計する。それが、暮らしも建物も良くする一番の方法だと、私たちは考えています。

□ 庭と外構を、建物の打ち合わせと一緒に進めている

チェックシート

	問い	○/ ×	相談する相手
1	庭で何をしたいか決まっている		家族
2	車の出し入れと自転車の置き場を考えた		建物の設計者
3	自転車の置き場所を決めた		建物の設計者
4	雨の日の玄関までの動線がある		建物の設計者・庭の設計者
5	デッキで何をするかを決めた		家族・庭の設計者
6	リビングの窓の正面に何が見えるか確認した		建物の設計者・庭の設計者
7	大きな窓の外に何があるか決めた		建物の設計者・庭の設計者
8	道路と隣家からの視線を線で引いた		建物の設計者
9	目隠しをフェンス以外でも考えた		庭の設計者
10	外の照明を電気の図面に入れた		建物の設計者
11	室外機・給湯器が庭の正面に来ていない		建物の設計者
12	家の予算に庭と外構を入れてある		家族・建物の設計者
13	植える木の育った大きさを知っている		庭の設計者
14	建物の高さで道路・隣地の差を確認した		建物の設計者
15	庭と外構を建物と一緒に進めている		全員



24

おわりに

15の問いは、答えを出すためのものではなく、「いま考える」ためのものです。

建物の配置図や平面図があれば、庭と外構をどのタイミングで、何から考えるべきか、いまの段階でお話しできます。建てる会社が決まっている方も、これから決める方も、図面を持ってお越しください。

見学・相談のご案内

niwato.com/contact

NIWAtO 姫路市飾磨区上野田3-69-2 TEL 079-280-2780

他の2冊のご案内

お金編 外構の予算は、何に・どの順番で使うのか

400万円・500万円・600万円。それぞれで何ができるかを、モデルケースで。

デザイン編 外構で家はここまで変わる 美しく見える庭と外構 7つの設計ルール

素材を減らし、全部を見せず、夜まで考える。

どちらも無料でお読みいただけます。

奥付

新築前に確認したい「庭と外構 15のチェックリスト」

2026年 第1版

発行 NIWAtO(運営事業:クオホーム)

姫路市飾磨区上野田3-69-2

本冊子の内容・写真の無断転載を禁じます。